第２回袖ケ浦市自転車活用推進協議会

１　開催日時　　令和４年１２月２１日（水）　午後２時００分開会

２　開催場所　　市役所北庁舎２階会議室

３　対面出席委員

会　長	鬼塚　信弘	委　員	山田　悟
副会長	佐藤　英利	委　員	池畑　陽一郎
委　員	山口　一男	委　員	庄司　直和
委　員	深山　宏樹	委　員	圓東　克典
委　員	伊藤　哲也	委　員	池畑　美穂
委　員	石井　俊一	委　員	佐川　正和

Web 出席委員

委　員	石井　敬太	委　員	小林　仁

Web 代理出席

委　員	福田　賢一　代理　桐谷　善文

４　欠席委員

委　員	酒井　康行	委　員	小阪　潤一郎

５　出席職員

土木管理課長	岡野　達也	主査	吉末　直美
副課長	鈴木　康夫	副主査	鈴木　将和

６　傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	５人
傍聴人数	０人

７　議　題

(1) 前回の振り返り

(2) 袖ケ浦市自転車活用推進計画（案）について

(3) 袖ケ浦市自転車ネットワーク計画（案）について

８　議　事

(1) 前回の振り返り《補足資料》

Ｑ：自転車歩道通行可が解除になる路線は交通量が多いと思うが、解除は警察が判断したのか。

Ａ：千葉県警察本部が判断し解除となる。これに対し、千葉県の道路担当課は、矢羽根を設置することで交通量の多い車道の路肩に自転車を誘導することになるので、判断に迷いがある状況である。
袖ケ浦市自転車ネットワーク計画では、解除になる路線は計画に組み込み、解除されても矢羽根をすぐに設置できるよう準備をしておく予定である。

Ｑ：主要地方道君津平川線は除草が先ではないか。
矢羽根の設置は良いと思うが、上手にやらなければ安全にならないのではないか。

Ａ：自転車歩道通行可が解除になることについて、木更津警察署と相談を行った。地元署としては、平成通りは通学路として使用しているので解除対象から外してほしいと県警本部に要望したとのことである。しかし、千葉県警察本部から歩道幅員が一定の幅員以上の歩道以外は一律解除との回答があったと聞いている。
主要地方道君津平川線は県管理だが、同様に除外は難しいと考えられることから、市のネットワーク路線に位置付け、矢羽根などの安全対策を千葉県に要請していく予定である。

(2) 袖ケ浦市自転車活用推進計画（案）について《資料１》

Ｑ：B.B.BASE は袖ケ浦駅に臨時停車することは可能である。袖ケ浦駅に止めて、高谷から久留里を抜けて往復し、最後に湯舞音で汗を流してもらうルートなら関東でも１級品のコースではないかと思う。サイクリストが満足するコース設定は袖ケ浦市だけでは難しいと思うので、隣接市と協力して B.B.BASE を活用してほしい。

Ａ：袖ケ浦市だけでは距離が足りないのは承知しており、サイクルルートの企画が必要だと考えている。B.B.BASE が君津駅に停まった場合、主に鹿野山に登りピックアップが竹岡だが、袖ケ浦へ変更の検討の余地はないだろうか。最後に温泉施設で汗を流して帰っていただくというのは強みなので、連携して現実的なものを探っていきたい。

Ａ：鹿野山は人気がある。木更津駅よりも袖ケ浦駅で降りて久留里・亀山・濃溝に行くルートの方が風景もよく有意義だと思う。前向きに検討していただきたい。

Ｑ：レンタサイクル利用台数だが、目標値が令和９年で年間３００台ということは、1日１台に満たない数となる。現在でも多い月は３０台を超えているので、できれば他の指標をあげていただきたい。

Ｑ：計画を立てた当初に、台数や利用回数等設定しているので、その台数プラスアルファでいいのではないか。

Ａ：担当課に確認させていただく。

(3) 袖ケ浦市自転車ネットワーク計画（案）について《資料２》

Ｑ：整備された後、どのように周知をして活用するのか。自転車道の起点と終点のつなぎの所をどうしていくのか安全教育の面でも非常に重要になると思う。

Ａ：起点と終点の区間が中途半端になってしまうと、交通安全教育と周知の不整合が出てきてしまうので、起点と終点の区切りがいいところを考えながら整備を行っていきたい。整備を行った際には、ほとんどが矢羽根になるが、矢羽根を設置した部分を走行するよう学校への教育指導や警察への周知を依頼する。また、ドライバーへの周知も必要なので、広報そでがうらやホームページなどでＰＲする必要があると考えている。

Ｑ：国道・県道・市道とあるが、それぞれ予算と計画の整合はどうするのか。

Ａ：ネットワーク計画に位置付けた国道・県道・市道それぞれの道路管理者が整備することになる。今回計画に入っている国道だが、千葉県が管理している路線になるので、整備は千葉県が行う。千葉県の整備実績としては、ナショナルサイクルルートの一環として銚子から金谷港までの太平洋側の路線を矢羽根で整備したくらいである。君津土木事務所管内でも千葉県として自転車道を整備した路線はないので、ネットワーク計画に位置付けることによって、千葉県に整備をお願いすることができる。

Ｑ：整備には隣接市の協力が必要だと思うが、隣接市の進捗はどのような状況か。

Ａ：木更津市は西口駅から港までの１本のネットワーク計画のみと聞いており、全市を色付けしてというものではないとのことである。具体的には、今後検討するという認識である。木更津市はサイクルイベントを多く行っており、袖ケ浦駅から金田につながっていくルートにニーズがあるのでアピールしていきたいと考えている。市原市は計画策定したという確認はできていない。

Ｑ：市原市は、五井の西側に矢羽根があったと認識している。
Ａ：千葉県の調査では記載がなかったと思うが、確認したい。

その他

Ｑ：長浦駅前などは路肩が狭く、矢羽根を設置したからと言って安全とは思えない。
Ａ：矢羽根を引いたからといって安全ではないと思うが、自転車は軽車両である。自転車が走るというドライバーへのモラルの認識をしてもらえるような社会になるようにしていかないといけないと考えている。